

アメリカ経済グラフポケット (2017年5月号)

2017年5月8日発表分までの主要経済指標

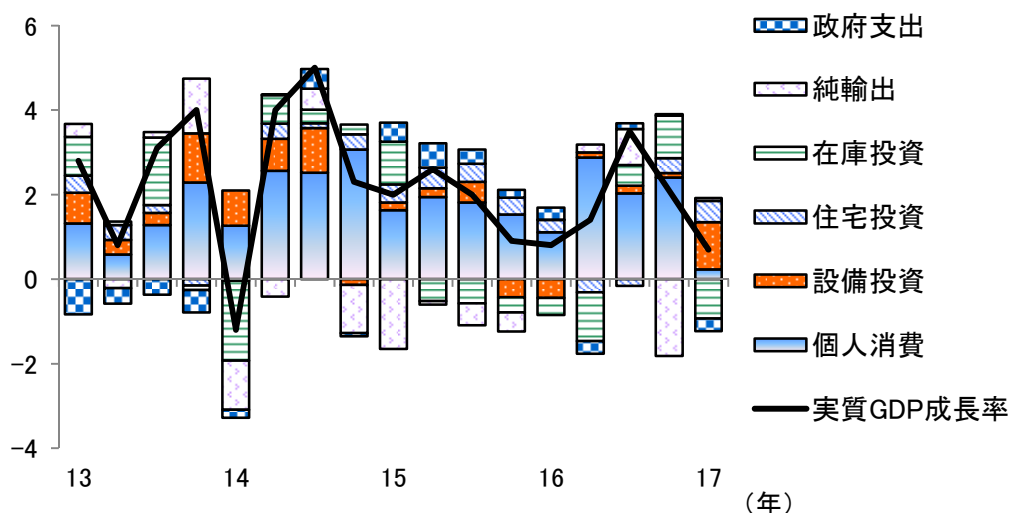
ニューヨークリサーチセンター

上野 まな美

エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



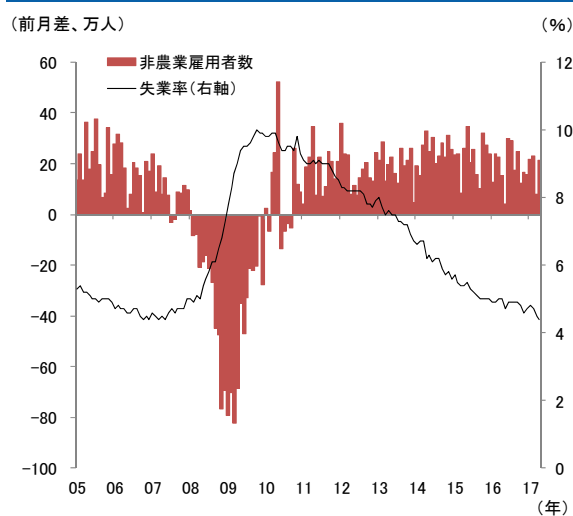
(前期比年率、%、%pt)	2015			2016				2017
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
国内総生産	2.6	2.0	0.9	0.8	1.4	3.5	2.1	0.7
個人消費	2.9	4.3	3.0	3.5	4.3	3.0	3.5	0.3
設備投資	1.6	1.0	1.4	0.9	1.0	1.4	0.9	9.4
住宅投資	14.9	-7.7	-4.1	9.6	-7.7	-4.1	9.6	13.7
政府支出	3.2	-1.7	0.8	0.2	-1.7	0.8	0.2	-1.7
輸出	2.9	1.8	10.0	-4.5	1.8	10.0	-4.5	5.8
輸入	2.9	0.2	2.2	9.0	0.2	2.2	9.0	4.1
寄与度								
個人消費	1.9	1.8	1.5	1.1	2.9	2.0	2.4	0.2
設備投資	0.2	0.5	-0.4	-0.4	0.1	0.2	0.1	1.1
住宅投資	0.5	0.4	0.4	0.3	-0.3	-0.2	0.4	0.5
在庫投資	-0.5	-0.6	-0.4	-0.4	-1.2	0.5	1.0	-0.9
政府支出	0.6	0.3	0.2	0.3	-0.3	0.1	0.0	-0.3
輸出	0.4	-0.4	-0.3	-0.1	0.2	1.2	-0.6	0.7
輸入	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	-0.0	-0.3	-1.3	-0.6

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

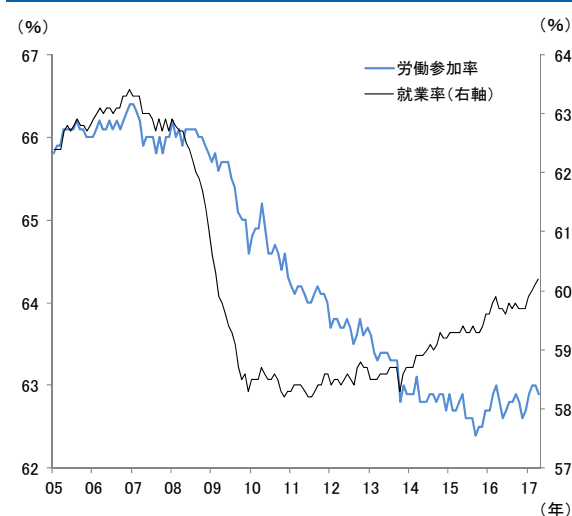
- ◆ 4月の失業率は4.4%と前月から0.1%ポイント低下し、2007年5月以来の低水準を記録した。就業者数の増加と労働参加率の低下が、失業率を押し下げる要因となった。
- ◆ 4月の非農業雇用者数の前月差は21.1万人増となった。前月は雇用者数の伸びが急減速したが、サービス部門の雇用者数が大幅に増加したことにより、再び好不調の基準と言われる20万人超へと伸びが急加速した。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は17.6万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



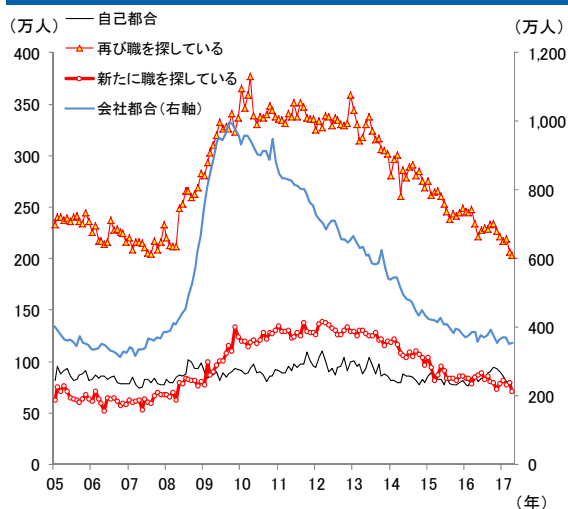
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



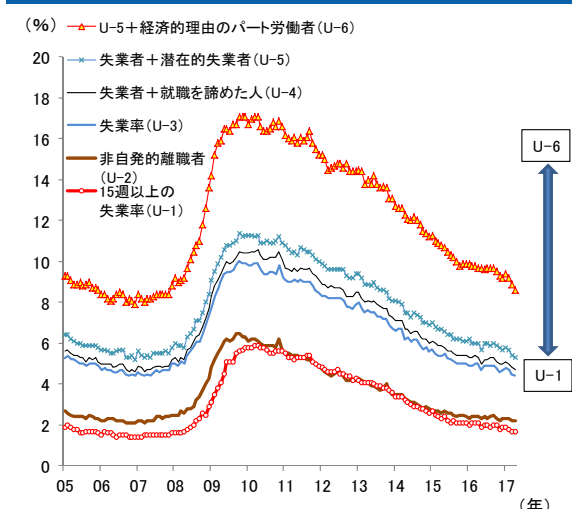
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



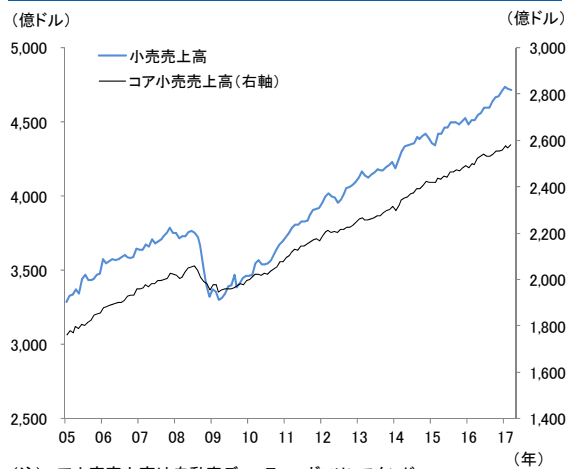
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「雇用者数の伸びは+21.1万人に再加速」(2017年5月8日)参照。 http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20170508_011957.html

個人消費

- ◆ 3月の小売売上高は前月比0.2%減少した。前月が下方修正されたことから、2ヵ月連続の減少となった。コア小売売上高は同0.6%増加した。
- ◆ 4月の自動車販売台数は前月比1.6%増加し、年率換算で1,688万台であった。2016年12月以来の増加となったが、販売が減速傾向にある。
- ◆ 4月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の96.9から97.0へとわずかに上昇した。2ヵ月連続で上昇し、高水準を維持している。

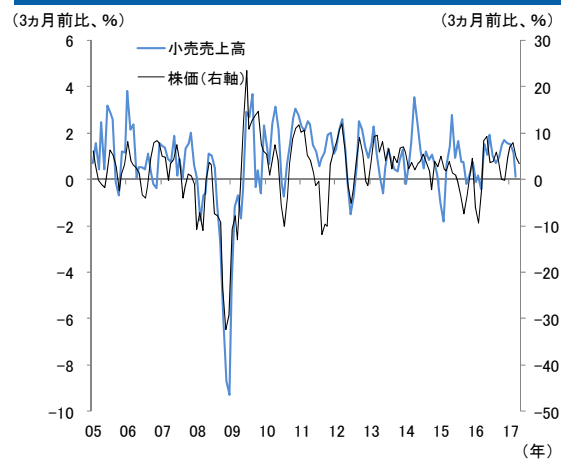
小売売上高の推移



(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、
建材・園芸、飲食サービスを除く。

(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

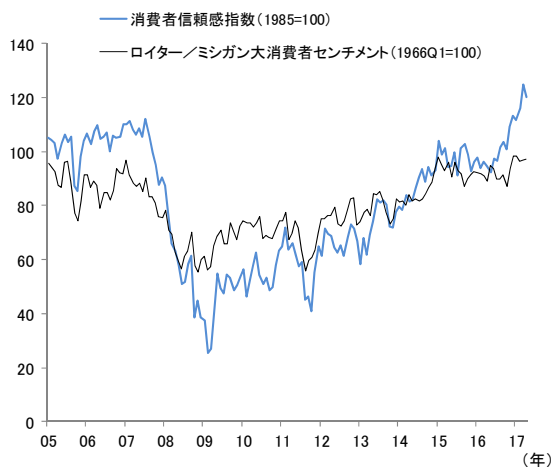
消費と株価



(注)株価はWilshire5000。

(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより
大和総研作成

自動車販売台数

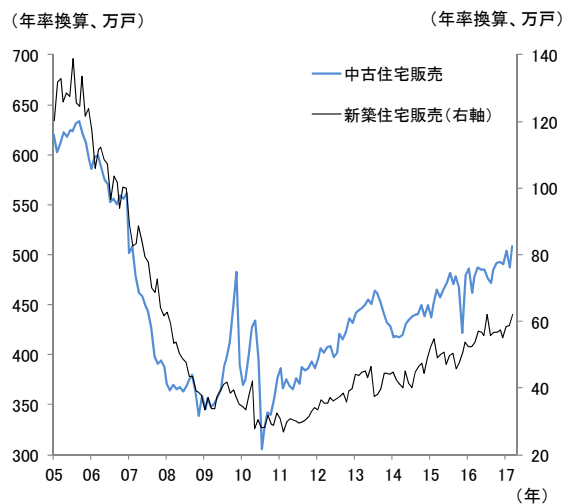


(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

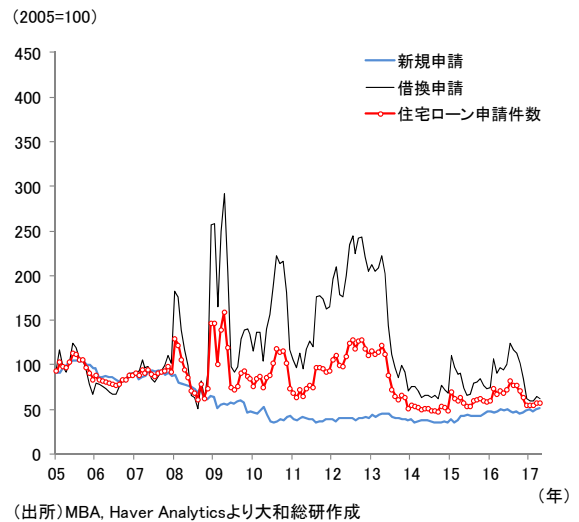
住宅市場

- ◆ 3月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比6.8%減の年率換算121.5万戸であった。悪天候によって中西部における一戸建ての着工が大幅に減少し、全体を押し下げた。
- ◆ 3月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比4.3%増の年率換算508.0万戸であった。前月より増加に転じ、2007年2月以来の高水準となった。
- ◆ 3月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比5.8%増の年率換算62.1万戸となった。中古住宅の在庫不足によって新築住宅の需要が高まり、3ヵ月連続で増加した。
- ◆ 2月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月から0.7%上昇し、2007年7月以来の高水準となった。住宅価格は低水準の在庫を反映して上昇が続いている。

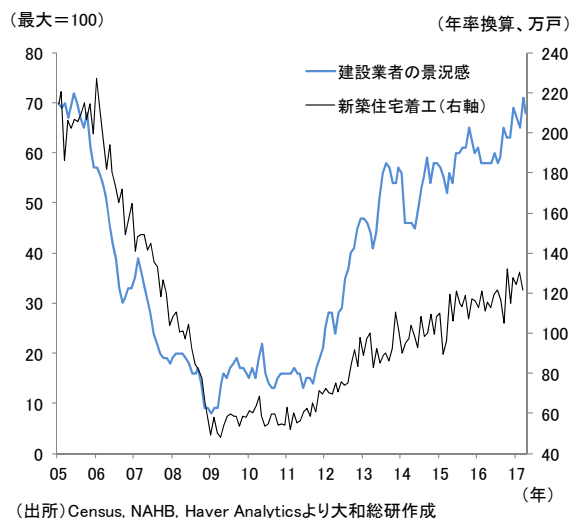
住宅販売（一戸建て）



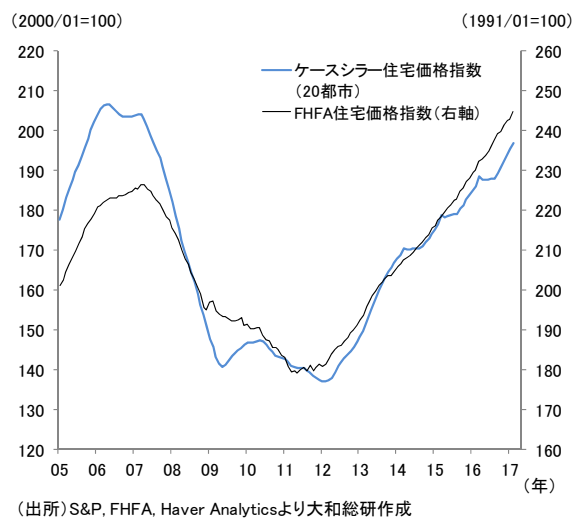
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



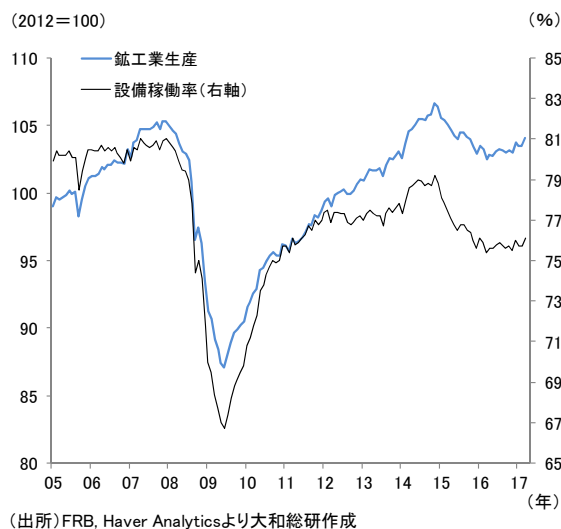
住宅価格



企業動向

- ◆ 3月の鉱工業生産指数は前月比0.5%上昇した。指数全体の約8割を占める製造業（SICベース）は同0.4%低下したものの、暖房需要の増加によって公益事業が過去最大の伸びを記録し、指数全体の上昇に寄与した。
- ◆ 3月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比0.5%増加した。前月が上方修正されたことから、6ヵ月連続の増加となった。
- ◆ 4月のISM製造業指数は、前月から2.4%ポイント低下の54.8%であった。2ヵ月連続で低下し、これまでの上昇傾向が一服している。非製造業指数は前月から2.3%ポイント上昇し、57.5%となった。2ヵ月ぶりに上昇し、高水準を維持している。

鉱工業生産と設備稼働率



企業の景況感



製造業の出荷・在庫



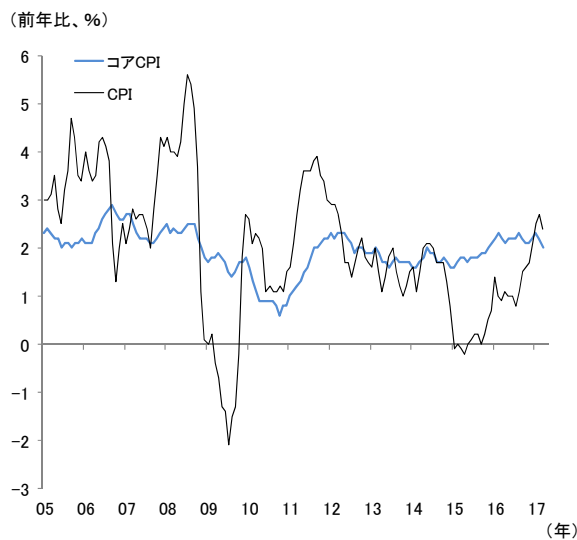
耐久財受注



物価動向

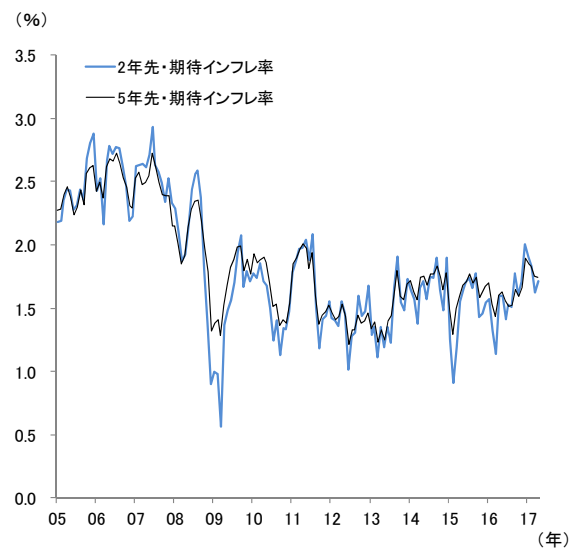
- ◆ 3月のCPI（消費者物価指数）は前年比2.4%上昇した。コアCPIは同2.0%上昇したが、2ヵ月連続で前月から上昇幅が縮小した。
- ◆ 4月の2年先期待インフレ率は1.71%と前月から上昇したが、5年先期待インフレ率は1.74%と前月から低下した。
- ◆ 4月末のWTI原油先物価格は49.33ドル/バレルで、3月末の50.60ドルから下落した。米軍のシリア攻撃に対する懸念から中旬に価格が上昇したものの、米国における生産増加などにより、月末値は前月より若干の低下となった。

消費者物価指数



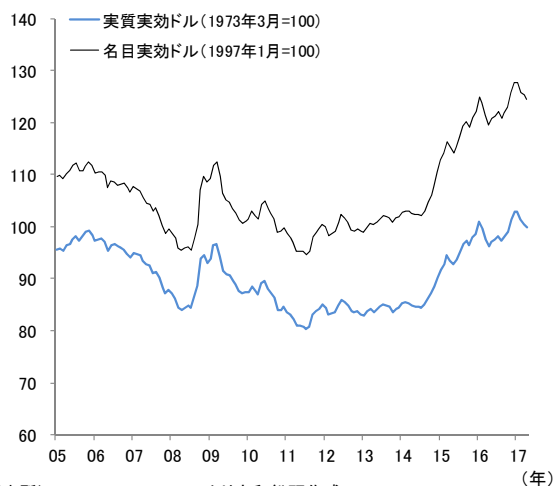
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

期待インフレ率



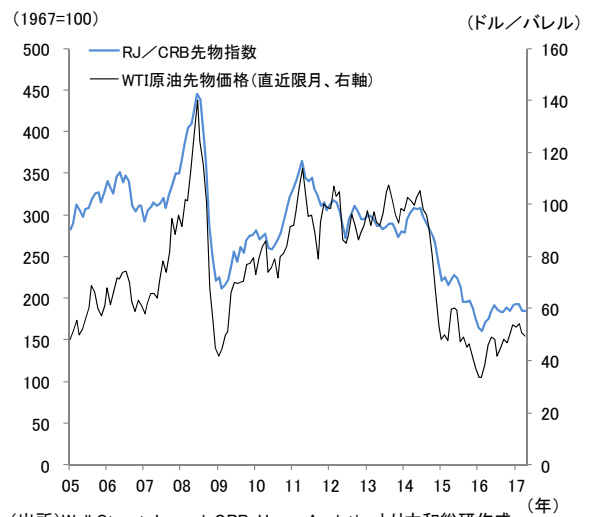
(出所)Cleveland Fed, Haver Analyticsより大和総研作成

実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

コモディティ価格

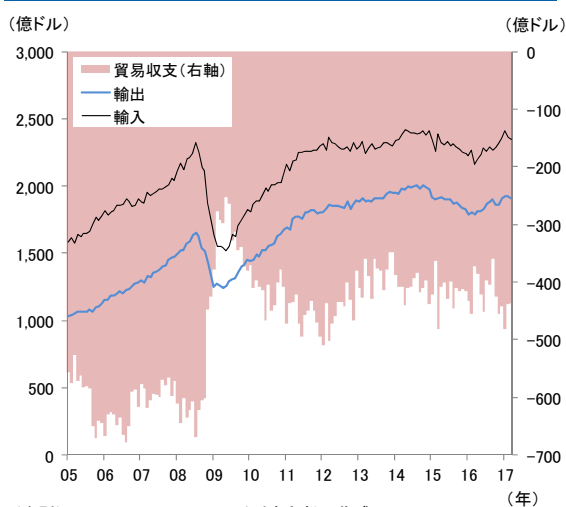


(出所)Wall Street Journal, CRB, Haver Analyticsより大和総研作成

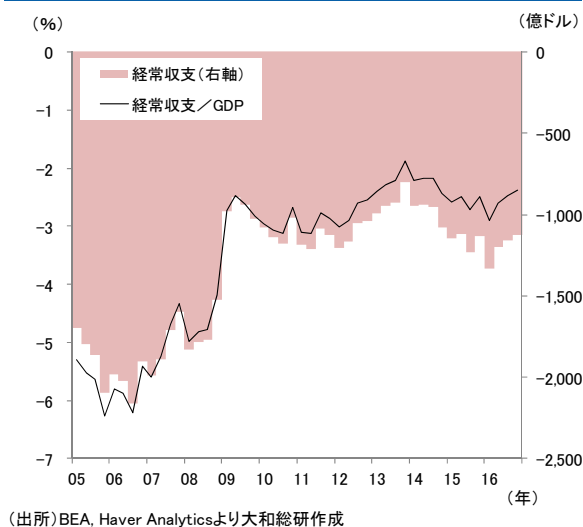
輸出入・経常収支

- ◆ 3月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.9%、輸入が同0.7%、ともに減少した。この結果、貿易赤字は同0.1%減と2ヵ月連続で減少し、約437億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では自動車、燃料油が主に減少した。一方の輸入では、航空機やコンピューターを含む資本財や、原油の減少が目立った。
- ◆ 地域別（財）では、日本への輸出が前年比7.8%増、中国向けが同7.5%増、欧州向けも同3.3%増加した。輸入は、中国からの輸入が同14.6%増加し、日本からの輸入も同7.9%増加したが、欧州からの輸入は同1.4%減少した。

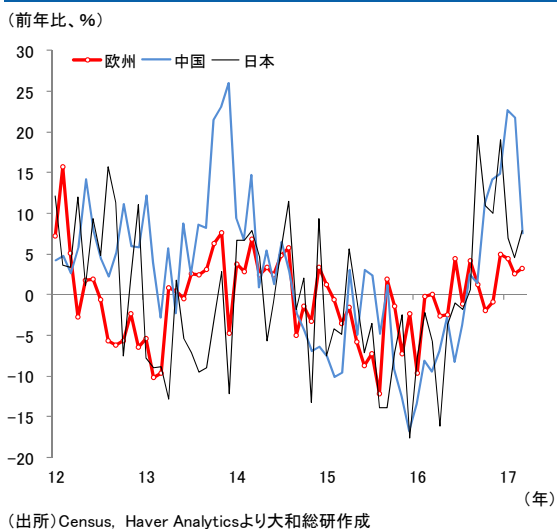
貿易収支動向



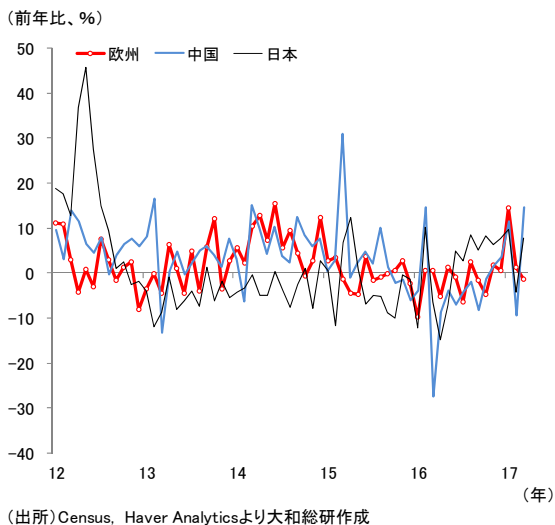
経常収支の推移



国・地域別輸出動向



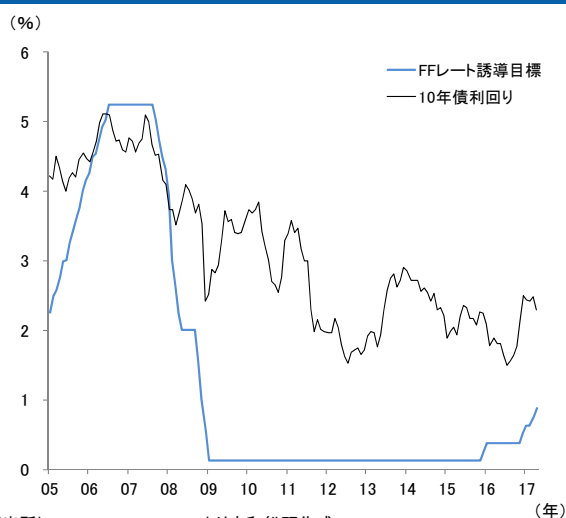
国・地域別輸入動向



金融・財政

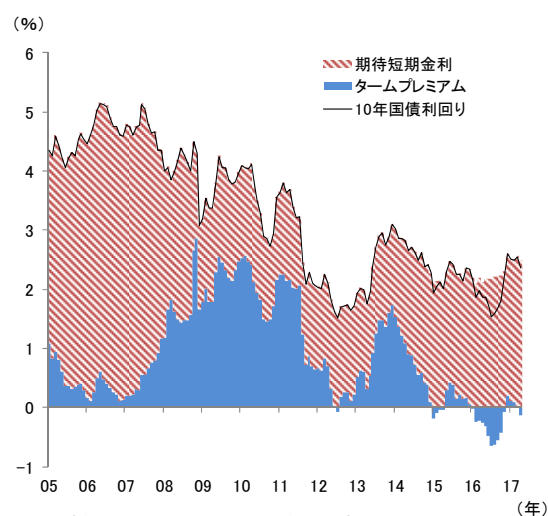
- ◆ 2017年5月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが据え置かれ、0.75-1.00%とすることが決定された。保有する資産規模については現在の水準を維持することが決定され、FRBの資産残高は、直近の5月3日の週平均が約4兆5,200億ドルであった。
- ◆ 4月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.30%であった。シリアや北朝鮮といった地政学的リスクに対する懸念から比較的安全な米国債が買われ、2016年11月以来の低水準となった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、赤字幅が拡大傾向にある。

政策金利・長期金利



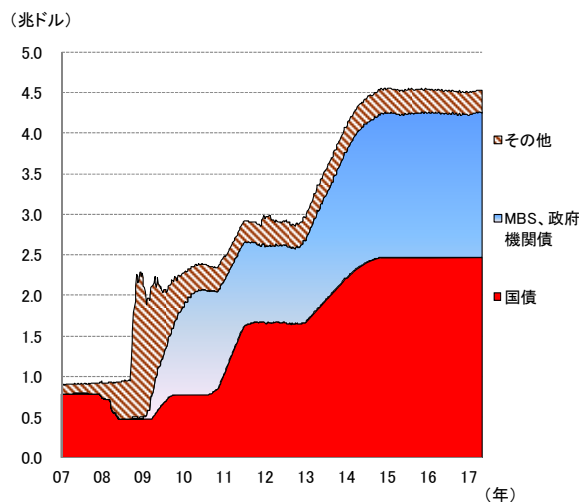
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

タームプレミアム(10年)



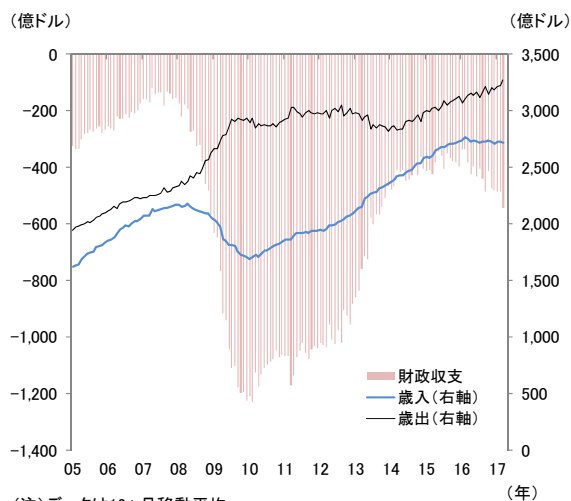
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成